

ガイダンス

1. 建築学と他の分野との関わり
2. 建築環境工学のキーワード
3. 環境共生学部で用意されている環境調整設備系科目の流れ
4. 住環境調整工学とは？
5. 講義の予定（辻原担当分，～5/30）

- 4月11日（金） 第1回目 ガイダンス
4月18日（金） 第2回目 住環境調整の歴史（その1）「森鷗外と建築環境工学」
4月25日（金） 第3回目 住環境調整の歴史（その2）「女性と住環境改善」
5月02日（金） 開学記念日のため講義なし
5月09日（金） 第4回目 住環境調整の歴史（その3）「暖房の歴史」
5月16日（金） 第5回目 住環境調整の歴史（その4）「冷房の歴史」
5月23日（金） 第6回目 環境デザイン学と環境心理学（その1）
5月30日（金） 第7回目 環境デザイン学と環境心理学（その2）

注1) 上記のスケジュールは、あくまで予定です。検討を加えた結果、予定が大幅に変更になることもあります。

注2) 6月06日（金）以降は、中村泰人教授の担当です。

講義内容は、「品確法」、建築のライフサイクルマネジメント、環境アセスメントなど。

注3)（少なくとも辻原担当分の）講義は、いくつかの話題を紹介していく形式で進めます。

その中で、興味を持った部分について自分で学んで欲しいと考えています。従って、特に予習などは必要とはしません。

6. 参考図書

- 1) 環境工学教科書研究会編著「環境工学教科書 第二版」（彰国社，3,675 円，「環境設備原論」（2年生・後期配当）教科書）
- 2) 建築設備学教科書研究会編著「建築設備学教科書 新訂版」（彰国社，3,675 円，「環境

設備システム学」（3年生・前期配当）教科書）

また、辻原担当分の講義に関するその他の参考文献は、毎回配布する予定の資料の最後に載せます。附属図書館の所蔵情報も載せる予定ですので、できるだけ多くの文献に目を通すようにしてください。

7. 成績の評価

- 1) 出席点とレポートを総合して、評価します。定期試験は行いません。
- 2) 辻原の評価が50点、中村教授の評価が50点とし、それぞれ別々に評価を行い、その後にあわせて100点満点で住環境調整工学の最終評価とします。
- 3) 辻原の場合は、出席点が約3～4割、レポートが約6～7割として評価します。
- 4) なお、毎回、講義の最後に5～10分程度時間を設け、A4判のレポート用紙に5～10行程度、その回の講義の感想・意見・要望などを書いて提出することで、出席点とします。

8. 配付資料

講義で配布する資料などは、できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので、必要な人や欠席した人は、各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/jyuu.html/jyuukan.html>

9. 担当者

担当者の連絡先などは、以下の通りです。

教授・中村 泰人

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）3階西南角

電話：096-383-2929（内線475）

e-mail：ynaka@pu-kumamoto.ac.jp

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp